

平成24年度 シラバス	学年・期間・区分	3年次・後期・A群	
	対象学科・専攻	電気電子工学科	
情報処理Ⅳ (Information Processing Ⅳ)	担当教員	今村 成明 (Imamura, Nariaki)	
	教員室	電気電子工学科棟2階 (TEL: 42-9022)	
	E-Mail	n-imamu ※最後に@kagoshima-ct.ac.jp を付けて下さい。	
教育形態/単位の種別/単位数	講義・演習 / 履修単位 / 1単位		
週あたりの学習時間と回数	[授業 (100分)] × 15回		
[本科目の目標] 本科目では、様々なソフトウェアの開発に利用されているプログラミング言語、C言語を修得する。文法の理解を目標とする。			
[本科目の位置付け] 3年次の情報処理Ⅲの続きである。2年次の項目の基礎部分を修得していることを前提とする。本科目は5年次の情報処理Ⅴの基礎となる。			
[学習上の留意点] プログラミングは、どれだけ多くのプログラムを作成したかによって上達のスピードが変化する。そのため、本科目は演習を主体とする。積極的に課題に取り組んでもらいたい。疑問が生じた場合は直ちに質問し、理解を深めることを要する。			
[授業の内容]			
授 業 項 目	時限数	授業項目に対する達成目標	予習の内容
1. 文字の取り扱い 1.1 文字列と文字配列	8	<input type="checkbox"/> 文字配列への代入方法, EOS の意味, 初期化, 表示方法について理解できる。 <input type="checkbox"/> 文字列へのポインタについて理解し, ポインタを使ったプログラムを作ることができる。	p.208-p.219, p.248-p.255 の内容について, 教科書を読んで概要を把握しておく。
1.2 ファイル入出力	6	<input type="checkbox"/> ファイルポインタ, およびファイルのオープン, ファイルオープン時のエラーチェック, ファイルのクローズの方法について理解できる。 <input type="checkbox"/> ファイルからのデータの読み込み, 書き込み方法を理解し, 各種プログラムを作ることができる。	p.290-p.305 の内容について, 教科書を読んで概要を把握しておく。
--- 後期中間試験 ---		授業項目 1-1.1~1-1.2 について達成度を確認する。	
1.3 文字列の応用	6	<input type="checkbox"/> 標準関数を使った「文字から数値への変換」, 「文字列のコピー」, 「文字列の連結」, 「文字列の長さの取得」, 「単語単位への分解」の方法を理解できる。	p.260-p.265 の内容について, 教科書を読んで概要を把握しておく。
2. 構造体	8	<input type="checkbox"/> 構造体の宣言, 構造体メンバへのデータ代入と参照, 構造体配列の宣言と使用方法を理解し, プログラムを作ることができる。 <input type="checkbox"/> 構造体を関数値として用いたり, 構造体を引数として用いたりする方法について理解し, プログラムを作ることができる。 <input type="checkbox"/> 構造体へのポインタの宣言と使用方法について理解し, プログラムを作ることができる。 <input type="checkbox"/> typedefの意味を理解し, typedefを使った構造体の宣言ができる。	p.268-p.283 の内容について, 教科書を読んで概要を把握しておく。
--- 後期期末試験 ---		授業項目 1-1.1~2 について達成度を確認する。	
試験答案の返却・解説	2	各試験において間違った部分を理解出来る。	
[教科書] 「新版 明解C言語 入門編」 柴田望洋 ソフトバンククリエイティブ			
[参考書・補助教材]			
[成績評価の基準] 中間試験および期末試験成績 (75%) + レポート成績 (25%) - 授業態度 (最大10%)			
[本科 (準学士課程) の学習・教育目標との関連] 3-c			
[教育プログラムの学習・教育目標との関連]			
[JABEE との関連]			

Memo
